

太陽生命くつきの森林^{もり}

-太陽生命保険株式会社-

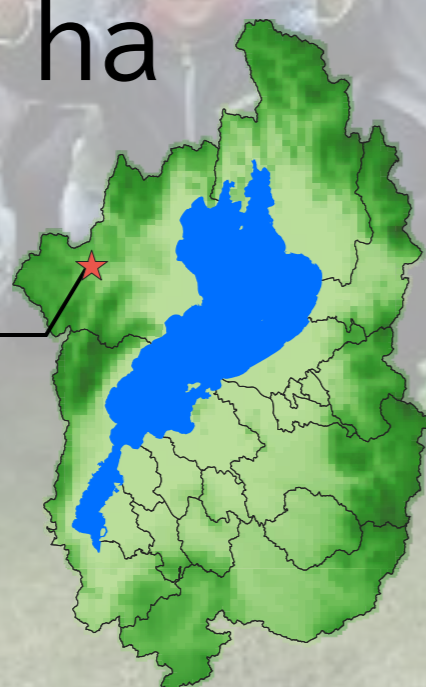
恵み豊かな里山林づくり

むかし里山として人と密接なかかわりを持っていた森林の原風景を維持しながら、新しい形で人とかかわる「恵み豊かな里山林」を育てています。

場所:滋賀県高島市

面積: 23.11 ha

太陽生命くつきの森林



サイト概要

本サイトは、滋賀県高島市の森林公園くつきの森(約150ha)の一角にあり、かつてホトラ山と呼ばれた採草地でした。現在はアカマツ・コナラ・クリなどの二次林とスギ・ヒノキの人工林によって構成され、琵琶湖上流域に位置する森林として「近畿の水がめ」といわれる琵琶湖の水を守るうえで重要な役割を果たしています。

地域等との連携

地元小学校と協働で「どんぐりプロジェクト」を実施しています。3年生がどんぐりをポットに植え付け、3年間育てた苗木を6年生の冬に森林に植えます。地域の子供たちと協力して新しいいのちの森林づくりを進めています。



活動の内容

「恵み豊かな里山林づくり」を活動テーマに掲げ、アカマツ林の保全、多様な生き物が集まるビオトープの整備、どんぐりの木の森林の育成などさまざまな活動を展開しています。また、学識者の協力を得て、森林の健康診断や植生調査などモニタリング活動を実施しています。



ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

むかし里山として人と密接なかかわりを持っていたこの森林には多様な動植物が生育・生息しています。そうした森林に触れ、私たちにさまざまな恵みをもたらし、私たちのいのちを支えてくれている森林の大切さを理解することを通じて、元気な生き物たちでにぎわう「恵み豊かな里山林づくり」を進めてまいります。

生物多様性の状況

本サイトは、暖温帯域の上部から冷温帯域の下部に位置し、その気候帯に対応した多様な植物が自生しています。かつて田圃だった湿地帯エリアではアカハライモリの成体やモリアオガエルの卵塊が確認されているほか、オオアメンボ、マツモムシ、ヒメゲンゴロウなどの水生昆虫が生息しています。森林性や河川性の種を中心とした多種の鳥類も確認されています。

